

平成29年度事業報告

1. ・定時社員総会
平成29年6月28日（金） 午後2時00分～午後3時00分 （AP 東京八重洲通り）
- ・臨時社員総会
平成29年5月3日（水） 午後3時30分～午後4時45分
（東北大学星陵オーデトリウム講堂）

2. 理事会

平成29年度理事会役員

	M系	E系
理事長	杉町 勝	
副理事長	山家 智之	大城 理
総務員		大城 理
財務部	石原 謙	
学術部	村垣 善浩	
支部	橋爪 誠	
規約（制度改革）		佐藤 嘉伸
企画（活性化）		佐久間 一郎
国際集	山家 智之	
編集	松田 哲也	
教育		木村 裕一
ME技術教育		野村 泰伸
選奨	守本 祐司	
選挙管理		松本 健郎
広報	川田 徹	
監事	澤 芳樹	黒田 知宏
		牧川 方昭
		吉田 正樹
総務委員会	川田 徹	大城 理
財務委員会	村垣 善浩	
	松田 哲也	
国際委員会	松田 哲也	佐久間 一郎
編集委員会		木村 裕一
1. 生体医工学編集委員会		横澤 宏一
2. 国際誌（ABE誌）		福岡 豊
教育委員会		野村 泰伸
		黒田 知宏
ME技術教育委員会	守本 祐司	
	石原 謙	
CE委員会	守本 祐司	
	石原 謙	
広報委員会	平田 雅之	黒田 知宏
ME研究推進委員会	橋爪 誠	松本 健郎

医学科ME教育WG	平田 雅之	
	橋爪 誠	
生体医工学科活性化委員会		花房 昭彦
大会在り方委員会	山家 智之	佐藤 嘉伸
利益相反委員会	中村 真人	野村 泰伸
若手研究者活動WG		黒田 嘉宏
公益法人化対応WG		佐久間 一郎
生体医工学シンポジウムWG		大城 理
		木村 裕一
選挙管理委員会	川田 徹	花房 昭彦
選奨委員会	松本 健郎	
	中村 真人	
日本生体医工学会事務局長		磯山 隆

理事会開催 6回（6/28、8/18、10/13、1/24、3/14、5/30）

3. 第56回大会

会 期：平成29年5月3日（水）～5日（金）
 会 場：東北大学医学部星陵キャンパス
 大 会 長：山家 智之（東北大学）

4. 生体医工学シンポジウム2017

会期：平成29年9月15日（金）～16日（土）
 会場：信州大学繊維学部上田キャンパス
 組織委員長：西川 敦（信州大）

5. 会員現状

	平成29年3月末現在	平成30年3月末現在	増減
名誉会員（名）	62	59	-3
正会員（名）	1,677	1,652	-25
準会員（名）	219	228	9
維持会員（団体 [口]）	13 [18口]	13 [18口]	0

◆平成29年度物故会員

名誉会員：阿部 裕（平成29年4月27日）、鳥脇 純一郎（平成29年10月5日）
 安井 昭二（平成29年11月）
 正 会 員：米田 隆志（平成29年6月2日）、石井 克典（平成29年6月23日）、
 中村 政俊（平成29年7月18日）、芳川 洋（平成29年11月9日）、
 長坂 昌人（平成29年8月18日）、稲邑 清也（平成29年11月23日）

6. 機関誌発行

- （1）「生体医工学」第55巻第2号（通巻号数287）～第56巻第1号（同292）
- （2）Advanced Biochemical Engineering (ABE) volume 6

7. 平成29年度専門別研究会

	名 称	氏 名	回数
1	次世代治療技術開発のための細胞組織・分子機能の計測・制御研究会	石原 美弥	5
2	精神・睡眠医療とME研究会	植野 彰規	1
3	ニューロ・インフォマティクスにおけるME研究会	鈴木 隆文	3
4	バイオメカニクス研究会	坂本 信	4
5	BME on Dementia 研究会	志村 孚城	4
6	次世代内視鏡技術研究会	渡部 健二	10
7	未来のバイオメディカルデザイン研究会	生田 幸士	5
8	ナノテクノロジーと物理エネルギーを融合した標的化診断治療研究会	守本 祐司	1
9	医療機器に関するレギュラトリーサイエンス研究会（略称：RS研究会）	村垣 善浩	2
10	マルチモーダル脳情報応用研究会	岩木 直	3
11	医療・福祉における電磁環境研究会	廣瀬 稔	4
12	生体医用画像研究会	佐藤 嘉伸	7
13	Active agingを支援するバイオメディカル工学研究会	酒谷 薫	4
14	ユビキタス情報メディアと医療システム研究会	保坂 良資	5
15	生体信号計測・解釈研究会	百瀬 桂子	2
16	fNIRS (functional near-infrared spectroscopy) 計測・解析技術研究会	江田 英雄	4
17	育児工学未来研究会	小谷 博子	4
18	非ME臨床研究会	白石 泰之	2
19	バイオメディカル・ビッグデータ研究会	早野順一郎	4

専門別研究会協議会を平成29年5月3日に、東北大学医学部星陵キャンパスで開催。

8. 他団体との共催の研究会

- ・医療・福祉における電磁環境研究会（日本医療福祉設備協会との共催）
 - ・生体信号計測・解釈研究会
（バイオメディカル・ビッグデータ研究会および早稲田大学人間総合研究センターとの共催）
 - ・fNIRS 計測・解析技術研究会（SICE ライフエンジニアリング部門シンポジウムと共催）
 - ・MEとバイオサイバネティクス研究会（電子情報通信学会との共催）
- 委 員 長：中島 一樹（富山大学）
副委員長：京相 雅樹（東京都市大学）

9. 支部活動

(1) 北海道支部 (支部長：工藤 信樹 支部幹事：加藤 祐次)

1) 支部総会開催日：平成 29 年 10 月 14 日 (土) 支部大会終了後
支部総会開催会場：北海道大学大学院情報科学研究科 A21 教室

2) その他の行事

- ・ 第 56 回日本生体医工学会北海道支部大会
(第 97 回北海道医学大会生体医工学分科会として開催)
平成 29 年 10 月 14 日 (土)、北海道大学大学院情報科学研究科 A21 教室
- ・ ME とバイオサイバネティクス研究会 (共催)
テーマ : ME 一般
開催日 : 平成 29 年 6 月 16 日 (金)
開催会場 : 北海道大学大学院情報科学研究科棟 5 階中会議室
共催等 : 電子情報通信学会 ME とバイオサイバネティクス研究会、
日本生体医工学会 ME とバイオサイバネティクス研究会、
IEEE EMBS Japan Chapter、電気学会医用・生体工学研究会と連催
- ・ 第 51 回生体医工学研究会 (共催)
テーマ : 医用超音波
開催日 : 平成 29 年 8 月 3 日 (木)
開催会場 : 北海道大学大学院情報科学研究科棟 11 階大会議室
共催 : 日本超音波医学会基礎技術研究会、超音波分子診断治療研究会、
光超音波画像研究会、日本音響学会アコースティックイメージング研究会
- ・ 生体医工学シンポジウム 2017 (主催)
開催日 : 平成 29 年 9 月 15 日 (金)、16 日 (土)
開催会場 : 信州大学繊維学部 上田キャンパス
主催等 : 日本生体医工学会、日本生体医工学会全支部、信州大学繊維学部と共催
- ・ IPIN2017 日本語ワークショップ (協賛)
開催日 : 平成 29 年 9 月 21 日 (木)
開催場所 : 北海道大学 学術交流会館
主催 : International Conference on Indoor Positioning and Indoor
Navigation 2017
- ・ 第 52 回生体医工学研究会 (共催)
テーマ : 臨床工学と生体医工学－臨床工学が生体医工学に期待すること－
開催日 : 平成 29 年 11 月 19 日 (日)
開催会場 : 北海道大学学術交流会館第 1 会議室
共催 : 北海道臨床工学技士会

3) 総括、その他通信

特になし。

(2) 東北支部 (支部長：吉澤 誠 支部幹事：松永 忠雄)

1) 支部総会開催日：平成 29 年 12 月 2 日 (土)

支部総会開催会場：秋田大学 地方創生センター2 号館 2 階 大セミナー室

2) その他の行事

- ・第 51 回日本生体医工学会東北支部大会

(大会長：田中 元志、日本生体医工学会東北支部主催)

平成 29 年 12 月 2 日 (土)、秋田大学 地方創生センター2 号館 2 階 大セミナー室

3) 総括、その他通信

平成 29 年 12 月 2 日 (土) に、東北支部大会と総会を秋田大学地方創生センター2 号館 2 階大セミナー室にて行った。1 件の特別講演として、尾野 恭一氏 (秋田大学大学院医学系研究科教授) による「振動センサーを用いた心拍呼吸遠隔監視システムの実用化に向けた展開 ～疾患スクリーニング及び健康管理への応用～」と題した講演が行われた。

高齢者の介護現場で活用できる生体情報遠隔監視システムに用いる振動センサーの実施例についての大変有意義な講演内容であり参加聴講者に好評であった。

また、一般演題は 31 件あり、5 セッションに分かれ大変活発な質疑応答が行われた。

(3) 関東支部 (支部長：佐久間 一郎 支部幹事：中川 桂一)

1) 支部総会開催日：平成 29 年 11 月 18 日 (土)

支部総会開催会場：千葉大学 西千葉キャンパス

2) その他の行事

- ・日本生体医工学会関東支部 若手発表会 2017：主催 2017 年 11 月 18 日 (土)

千葉大学 西千葉キャンパス 実行委員長：中村亮一先生 (千葉大学)

演題数 56 件、参加者数 98 名であった。学生、若手研究者を中心に、活発な議論が行われた。

- ・生体医工学シンポジウム 2017：日本生体医工学会全支部 2017 年 9 月 15 日 (金)～16 日 (土)

信州大学 上田キャンパス 組織委員長：西川敦先生 (信州大学)

- ・第 27 回ライフサポート学会 フロンティア講演会：共催 2018 年 3 月 9 日 (金)～10 日 (土)

杏林大学 井の頭キャンパス 実行委員長：福長 一義先生 (杏林大学)。

3) 総括、その他通信

- ・2019 年度に開催予定の「第 58 回 日本生体医工学会大会」

(大会長：東京大学 生田 幸士先生) の企画運営準備中である。

- ・関東支部では、若手研究者の研究の活性化を目的として、今後も若手研究者発表会などの活動を続けていく予定である。

(4) 東海支部 (支部長：長谷川 純一 支部幹事：目加田 慶人)

1) 支部総会開催日：平成 29 年 10 月 14 日 (土)

支部総会開催会場：会場：(株)スズケン本社ビル 2 階 (名古屋市)

2) その他の行事

- ・生体医工学会シンポジウム 2017

日時：平成 29 年 9 月 15 日 (金)～16 日 (土)

会場：信州大学 上田キャンパス (長野県上田市)

主催：日本生体医工学会および同学会全支部

組織委員長：西川 敦 (信州大学)

- ・支部幹事会

日時：平成 29 年 10 月 14 日 (土)

会場：(株)スズケン本社ビル 2 階 (名古屋市)

- ・第 32 回支部大会

日時：平成 29 年 10 月 14 日 (土)

会場：(株)スズケン本社ビル 2 階 (名古屋市)

大会長：鶴岡 信治 (三重大学)

3) 総括、その他通信

支部大会では、富本秀和教授（三重大学大学院医学系研究科）による特別講演「認知症の疫学と神経機能画像の進歩」のほか、6セッション計31件の一般演題が発表され、活発な討論が行われた。また、支部総会では、平成28年度の報告、平成29年度の計画のほか、平成30年度以降の計画についても審議し、生体医工学シンポジウム2018の名古屋開催に伴う平成30年度支部大会の中止案、ならびに、平成31年度以降の支部大会参加費改定案などが承認された。

(5) 北陸支部（支部長：中村真人 支部幹事：中島一樹）

1) 支部総会開催日：平成29年12月2日（土）

支部総会開催会場：富山大学 五福キャンパス 黒田講堂
(〒930-8555 富山市五福 3190 番地)

2) その他の行事

- ・平成29年度電子情報通信学会 ME とバイオサイバネティックス研究会（MBE）（共催）
平成29年5月26日（金）富山県立大学
- ・平成29年度電気関係学会北陸支部連合大会（主催）
平成29年9月11日（月）～12日（火）
富山大学総合教育研究棟（工学系） 多目的ホール
- ・第1回評議員会
平成29年12月2日（土）富山大学 五福キャンパス 黒田講堂
- ・特別講演（主催）
平成29年12月2日（土）富山大学 五福キャンパス 黒田講堂
 - I. 講師：日本人間工学会
理事長 堀江 良典 先生（日本大学名誉教授）
演題：「人間工学：過去・現在・未来」
 - II. 講師：富山大学医学部腎泌尿器科学
教授 北村 寛 先生
演題：「ロボット外科の現況と未来」
- ・支部大会（主催）
平成29年12月2日（土）富山大学 五福キャンパス 黒田講堂
一般演題 15題
- ・支部大会研究奨励賞・敢闘賞 表彰式
平成29年12月2日（土）富山大学 五福キャンパス 黒田講堂

3) 総括、その他通信

- ・電気関係学会北陸支部連合大会 北陸支部大会 表彰
生体工学関連セッションにおいて、優秀な研究成果を発表した研究者に対して「優秀論文発表賞」を贈る。9名が審査に応募し、厳正な審査が行われたが、各発表者の評点が受賞基準の4点未満であったため、受賞該当者を無しとした。
- ・日本生体医工学会 北陸支部大会 表彰
支部大会において将来性が期待できる優秀な研究成果を発表した39歳以下の若手研究者に対して「研究奨励賞」及び「研究敢闘賞」を贈る。厳正な審査の結果、14名の対象者の中から以下の3名が表彰された。
 - 【研究奨励賞】 2名
 - ・氏名（所属）
宮崎 洵（富山大学）、共著者：小倉亮介，吉池成弥，岩永進太郎，黒岡武俊，中村真人
タイトル「超音波エコーを用いた腎臓画像評価法の検討」
 - ・氏名（所属）
杉原 新（富山大学）、共著者：戸田英樹，山口孝弘
タイトル「移乗介助不要な台車型足首ストレッチング装置の提案」
 - 【研究敢闘賞】 1名
 - ・氏名（所属）
西村 和也（金沢大学）、共著者：野川雅道，内藤 尚，根本 鉄，戸川達男，田中志信
タイトル「較正機能内蔵サーミスタ体温計の開発」

(6) 関西支部(支部長：大城 理 支部幹事：浦西 友樹、岡山 慶太、木戸 倫子、黒田 嘉宏、
中尾 恵、山田 憲嗣)

1) 支部総会開催日：平成 29 年 12 月 9 日 (土) 12:00-13:00

支部総会開催会場：近畿大学 東大阪キャンパス ブロッサムカフェ 3F 多目的ホール
(大阪府東大阪市)

※「総会」から「支部報告会」への名称変更について

従来、関西支部の活動は「総会」の議決を経ることとなっていたが、規約変更により支部評議員会および日本生体医工学会理事会・総会の議決で承認を得ることになったため、「支部報告会」に名称変更を行った。活動状況については、引き続き支部報告会にて関西支部会員に報告する。

2) その他の行事

1) 生体医工学シンポジウム 2017

日時：平成 29 年 9 月 15 日 (金), 16 日 (土)

場所：信州大学繊維学部 上田キャンパス (長野県上田市)

2) 平成 29 年度日本生体医工学会関西支部 講演会

バイオメクフォーラム 21 研究会 第 87 回 研究会と共催

世話人：木村 裕一 (近畿大学)

日時：平成 29 年 12 月 9 日 (土)

場所：近畿大学 東大阪キャンパス ブロッサムカフェ (大阪府東大阪市)

3) バイオメクフォーラム 21 研究会

第 84 回 研究会

世話人：三宅 淳 (大阪大学)

日時：平成 29 年 4 月 15 日 (土)

場所：大阪大学 基礎工学部 国際棟

第 85 回 研究会

世話人：出口 真次 (大阪大学)

日時：平成 29 年 7 月 8 日 (土)

場所：大阪大学 基礎工学部 国際棟

第 86 回 研究会

世話人：森本 正治

日時：平成 29 年 10 月 14 日 (土)

場所：大阪大学 基礎工学部 国際棟

4) 平成 29 年度 計測自動制御学会関西支部・システム制御情報学会 若手研究発表会

日時：平成 30 年 1 月 12 日 (金)

場所：大阪大学医学部・銀杏会館 (吹田市山田丘 2-2)

3) 総括、その他通信

1) 生体医工学シンポジウム 2017

主催：公益社団法人 日本生体医工学会、

日本生体医工学会 北海道支部・東北支部・関東支部・甲信越支部・

北陸支部・東海支部・関西支部・中国四国支部・九州支部

組織委員長：西川 敦 (信州大学)

副委員長：本谷 秀堅 (名古屋工業大学)

日時：平成 29 年 9 月 15 日 (金), 16 日 (土)

場所：信州大学繊維学部 上田キャンパス

演題数：118 題

参加者：231 名（各種委員会委員・一般 129 名，学生 102 名）

シンポジウム論文

生体医工学（申込み 23 件）＞（実際の提出は 17 件）

採択 1 編，査読中 9 編，返却 6 編，取り下げ（未提出含）7 編

Advanced Biomedical Engineering (ABE)（申込み 25 件）＞（実際の提出：20 件）

採択 0 編，査読中 12 編，返却 7 編，取り下げ（未提出含）6 編

※ 2017 年 11 月 13 日時点

ベストリサーチアワード

ベストリサーチアワード審査対象論文：21 編

（うち「生体医工学」に投稿 8 編，「ABE」に投稿 13 編）

投稿論文の中から、シンポジウム選奨委員会による審査に基づき 4 件が選ばれた。

- ・吉田 怜楠，野村 収作

“毛髪コルチゾールの抽出方法の検討 -粉砕を必要としない方法について-”

- ・木村 真也，木村 祐介，世良 俊博，小野 謙二，田 中学

“嗅動作時における鼻腔内流れのボクセルシミュレーション”

- ・木村 允俊，片井 拓弥，鈴木 俊哉，山下 智己，望月 剛，榊田 晃司，絵野 沢伸

“B モードとドプラモードの両方に対応した血管分岐構造を有する超音波ファントムの製作”

- ・Shinichi Fukuhara, Shogo Watanabe, Hisao Oka

“The developed MMG/EMG Hybrid Transducer reflects Muscle Strength during Dynamic Exercise-Pedaling of Recumbent Bicycle-”

ベストレビューアワード

シンポジウム編集委員でない査読者の中から、シンポジウム選奨委員会による審査に基づき、以下の 23 名の査読者が選ばれた。

- ・菊地 謙次 （東北大学）
- ・鹿嶋 進 （オメガウェーブ株式会社）
- ・Kijoon Lee (Daegu Gyeongbuk Institute of Science and Technology, Korea)
- ・笈田 武範 （京都大学）
- ・天野 晃 （立命館大学）
- ・中村 英夫 （大阪電気通信大学）
- ・須藤 亮 （慶應義塾大学）
- ・福田 淳二 （横浜国立大学）
- ・土井 俊祐 （東京大学医学部附属病院）
- ・樋口 貴広 （首都大学東京）
- ・吉田 正樹 （大阪電気通信大学）
- ・山川 誠 （京都大学）
- ・榊田 晃司 （東京農工大学）
- ・小川 充洋 （帝京大学）
- ・西澤 光生 （大阪医科大学）
- ・井村 誠孝 （関西学院大学）
- ・三原 直樹 （国立がん研究センター）
- ・南部 雅幸 （京都大学）
- ・永岡 隆 （近畿大学）
- ・堀 謙太 （兵庫医科大学）
- ・小林 哲生 （京都大学）
- ・菅野 彰剛 （東北大学）
- ・松原 佳亮 （秋田県立脳血管研究センター）

ポスターアワード

ポスターアワード審査対象論文：77 件

シンポジウム選奨委員会による審査に基づき、以下の 11 件が選ばれた。

- ・園川 隼人
「ネックバンド型体振動センサを用いた呼吸・嚥下の検出」
- ・阿部 誠
「Evaluation of autonomic nervous activity using green light photoplethysmogram」
- ・中島 康貴
「トレッドミルの左右の速度差を用いた滑り転倒刺激実験における転倒回避動作戦略の検証」
- ・田中 莉沙子
「プラズマ照射による火傷部位の治癒メカニズム解明を目的とした酸化ストレス測定」
- ・菱田 豊
「ラベルフリー磁気走査法による細胞パターンニングの実証」
- ・大宮 康宏
「音声によるマインドモニタリングシステムにおける録音方式の違いによる有効性検証」
- ・荻原 知弘
「FBG を用いたストレス計測システムにおける脈波解析方法」
- ・大平 雅子
「Effects of LED lighting exposure during sleep on endocrine and autonomic nervous system activity」
- ・遠藤 航
「内視鏡手術支援ロボット制御のための色情報の相対差に着目した手術器具のビジュアルトラッキング」
- ・森田 充樹
「Model-based Estimation of Elastic Moduli by Local Displacement Observation of an Elastic Body」
- ・江口 佳那
「Measurement Points Optimization for Wearable Surface Electromyogram Devices Targeting Periodic Limb Movements Screening at Home」

2) 日本生体医工学会関西支部 講演会

主催：日本生体医工学会 関西支部

共催：バイオメクフォーラム 21 研究会

世話人：木村 裕一（近畿大学）

日時：平成 29 年 12 月 9 日（土）13:50-17:20

場所：近畿大学 東大阪キャンパス ブロッサムカフェ 3F 多目的ホール（大阪府東大阪市）

プログラム：

1. 「情報革命は医療に何をもたらすのか」
黒田 知宏（京都大学 医学部附属病院 医療情報企画部 教授）
2. 「IoT の時代の健康医療 ～行動インフォマティクス創出に向けて～」
中村 亨（大阪大学 大学院基礎工学研究科 附属産学連携センター 特任教授）
3. 「妊婦見守りシステムについて」
吉田 久（近畿大学 生物理工学部 生命情報工学科 教授）

(7) 中国・四国支部（支部長：石原 謙）

1) 支部総会

開催日：平成 29 年 10 月 7 日（土）

開催会場：岡山理科大学 50 周年記念館

2) その他の行事（行事名称・開催日・開催会場）

① 第 40 回支部大会

平成 29 年 10 月 7 日（土）

岡山理科大学 50 周年記念館

② 岡山県医用工学研究会・平成 29 年度第 1 回セミナー

平成 29 年 6 月 16 日（金）

岡山大学鹿田キャンパス内 臨床講義棟 2 階第 2 講義室（岡山市）

③ 岡山県医用工学研究会・平成 29 年度第 2 回セミナー

平成 29 年 10 月 27 日（土）

岡山大学鹿田キャンパス内 臨床講義棟 2 階第 2 講義室（岡山市）

④ 岡山県医用工学研究会 平成 29 年度第 3 回セミナー

平成 30 年 3 月 2 日（金）

岡山大学鹿田キャンパス内 臨床講義棟 2 階第 2 講義室（岡山市）

3) 総括、その他通信

本年度は岡山地区で支部大会を開催し、他に共催研究会を 3 回開催した。

いずれの会でも活発な討論と研究交流が行われた。

(8) 九州支部（支部長：井上 勝裕 支部幹事：大竹 博）

1) 支部総会開催日・開催会場

平成 30 年 3 月 3 日（土）

九州工業大学 飯塚キャンパス 講義棟

2) その他の行事

① 2018 年日本生体医工学会九州支部学術講演会・

平成 30 年 3 月 3 日（土） 九州工業大学 飯塚キャンパス 講義棟

② 生体医工学シンポジウム 2017

（関東、北海道、甲信越、関西、中国四国の各支部と共催）

平成 29 年 9 月 15 日（金）～16 日（土） 信州大学繊維学部 上田キャンパス

③ 九州支部特別講演会

平成 30 年 3 月 27 日 リファレンス 大博多ビル 11 階 セミナールーム 1109

演題：「臨床研究法施行に向けた現状について」

講師：木村 裕一先生

（近畿大学生物理工学部生命情報工学科 教授、日本生体医工学会 理事）

主催：日本生体医工学会九州支部

共催：電気学会九州支部

協賛：計測自動制御学会九州支部

3) 総括、その他通信

若手研究者育成事業として、若手研究者向けの講演会・勉強会等の開催を検討していたが、臨床研究法の施行が 30 年 4 月に始まることから、予定を変更して、その経費を臨床研究法施行に関する支部への広報を行うための特別講演会開催経費として使用した。

また、工学系と医学系が交互に支部長を務める慣習を来期に限り変更し、2 期連続支部長を工学系から選出することとなったが、医学系の支部会員を増加させるような施策や人材の育成が求められており、若手研究者育成事業等を含め、その方策を検討する必要があるものと思われる。

10. 国際委員会

委員長：松田 哲也

副委員長：佐久間 一郎

委員：石原 謙、伊良皆 啓治、小笠原 康夫、木村 裕一、黒田 知宏、椎名 毅、
白石 泰之、神保 泰彦、南部 雅幸、中村 亮一、野川 雅道、榊田 晃司
松本 健郎、村山 嘉延、吉田 正樹

顧問：梶谷 文彦、菊地 眞、砂川 賢二、田村 俊世、堀 正二

1) 日本医学物理学会との連携による World Congress の日本誘致への取り組み

昨年に引き続き、日本医学物理学会との連携による 2024 年の World Congress の日本開催に向けて、双方の大会、第 113 回日本医学物理学会学術大会（4 月 16 日 横浜）、第 56 回日本生体医工学会（5 月 4 日 仙台）にて交流セッションを企画し、互いに具体的な取り組みの紹介と両学会の連携の重要性の周知を図った。

2) 国際賞の設置の提案

生体医工学領域で国際交流の促進に顕著な功績をあげた個人またはグループを表彰するものとして設立された荻野国際賞は、公益法人化に伴う選奨規定改訂の際に、定期的に顕彰する各賞とは異なるなどの理由で取りやめたが、今後も受賞該当者が出ることを鑑み「国際賞」として再度設置することを理事会に提案し、理事会にて設置が承認された。

11. 編集委員会

編集担当理事：木村 裕一

生体医工学編集委員長：横澤宏一（生体医工学担当）、福岡 豊（ABE 担当）、
木村 裕一（渉外担当）

副編集委員長（両誌共通）：大城 理、中尾 光之、松村 泰志、南部 雅幸

編集幹事：永岡 隆

2017 年度の活動内容

本年度は以下の活動を行った。

- 1) 生体医工学は、第 55 巻第 1 号から 6 号と、第 56 回日本生体医工学会大会での発表を収載した電子版の別冊 1 つを出版した。
- 2) 生体医工学では、通常投稿として 9 編の投稿があり、うち 7 編が掲載され、収載率は 78% であった。また、生体医工学シンポジウム 2017 での論文として 17 編の投稿があり、7 編が収載され、収載率は 41% であった。双方を合わせると、26 編の投稿に対して 14 編が収載されており、収載率は 54% であった。
- 3) ABE は、第 6 巻を出版した。
- 4) ABE では、通常投稿として 22 編の投稿があり、うち 8 編が掲載され、収載率は 36% であった。また、生体医工学シンポジウム 2017 での論文として 20 編の投稿があり、11 編が収載され、収載率は 55% であった。双方を合わせると、42 編の投稿に対して 19 編が収載されており、収載率は 45% であった。
- 5) Clarivate(旧、トムソンロイター)社がインパクトファクター取得の直前の段階にある雑誌を主として収載している論文誌データベースである、Emerging Sources Citation Index(ESCI)に ABE が収載された。同時に同社が運営する学術雑誌のデータベースである、Web of Science (WoS)にも収載。今後は WoS を用いた論文の検索結果に、ABE に収載された論文が含まれることになり、掲載論文の露出性が向上する。本件は 2017 年 10 月 3 日ならびに 12 月 19 日に学会メーリングリストにて周知済みである。なお、ESCI に収載されることでインパクトファクターの審査も自動的に実施される。
- 6) Elsevier 社が運営する学術雑誌のデータベースである、Scopus に ABE が収載された。今後は Scopus を用いた論文の検索結果に、ABE に収載された論文が含まれることになり、掲載論文の露出性が向上する。また、NIH が運営する学術雑誌のデータベースである PMC にも収載を申請している。

- 7) 英語論文を書ききれない研究者に対して ABE への投稿を勧奨するために、ABE 投稿補助制度（略称 SAABE）を、生体医工学シンポジウム 2017 で試行した。
- 8) 論文投稿の勧奨、英語論文執筆の勧奨、生命倫理や出版倫理の普及を目的とした教育講演を、第 56 回日本生体医工学会大会及び生体医工学シンポジウム 2017 で実施した。
- 9) 編集委員会を第 56 回日本生体医工学会大会にて開催した。また、随時メールを用いた審議を行っている。

12. 教育委員会

委員長：野村 泰伸

副委員長：黒田 知宏

1) 2017 年生体医工学サマースクール（第 15 回）を開校した。

主催：日本生体医工学会

協賛：電気学会 電子・情報・システム部門・医用生体工学技術委員会、
日本機械学会 バイオエンジニアリング部門、
計測自動制御学会 ライフエンジニアリング部門、
電子情報通信学会 ME とバイオサイバネティクス研究会、IEEE EMBS Japan Chapter

企画・運営：永岡隆（委員長、近畿大学）、黒田嘉宏（大阪大学）、
荒船龍彦（東京電機大学）、桑名健太（東京電機大学）、塩澤成弘（立命館大学）、
福満雅史（国立循環器病センター）

期間：2017 年 8 月 28 日～29 日

場所：スペースアルファ神戸

内容：若手研究者活動 WG と共同で、2017 年 8 月 28 日から 29 日にかけて兵庫県のスペースアルファ神戸を会場に、2017 年度の生体医工学サマースクールを実施した。

今年度は「生体医工学で高齢化社会を快適に」をスローガンに、昨年度好評価が得られたハッカソン形式を採用した。学部 3 年生から社会人の幅広い世代、分野も工学系から医師など多岐にわたる、総勢 22 名（一般 14 名、正会員 5 名、準会員 2 名、協賛学会学生会員 1 名）の方に参加いただき、盛会のうちにイベントを終えることができた。

2) 生体医工学辞典（ウェブ版）発行準備

「生体医工学辞典（ウェブ版）」を電子出版する方針を決め、編集委員会（ワーキンググループ）の組織構成準備を開始した。

13. ME技術教育委員会

委員長：守本 祐司

委員：石原 謙、石山 陽事、稲田 紘、上松 弘明、大内 克洋、大塚 勝哉、
大庭 和夫、小野 哲章、加納 隆、小久保謙一、小山 裕徳、酒井 順哉、
嶋津 秀昭、白井 康之、高倉 照彦、高橋 誠、竹澤 真吾、立花 博之、
津坂 昌利、戸畑 裕志、内貴 猛、長倉 俊明、中島 章夫、南部恭二郎、
平井 紀光、廣瀬 稔、福長 一義、星野 洋、堀 純也、堀内 邦雄、
水島 岩徳、水谷 好成、峰島三千男、渡邊 晃広

1) 第23回第1種ME技術実力検定試験

A) 受験希望者用講習会

①東京会場（帝京平成大学）

2017年4月9日（日） 受講者123名

②大阪会場（ナレッジキャピタル）

2017年4月9日（日） 受講者 74名

③福岡会場（福岡県中小企業振興センター）

2017年4月16日（日） 受講者 32名

④札幌会場（北海道大学）

2017年4月23日（日） 受講者 9名

B) 第1種試験

①実施日 2017年6月25日（日）

②実施会場 札幌：北海道大学

東京：帝京平成大学

名古屋：名城大学

大阪：TKPガーデンシティ大阪梅田

福岡：JR博多シティ

③受験者（カッコ内は応募者数） *科目受験者数含む総数

札幌： 29名（ 31名）

東京：216名（237名）

名古屋： 38名（ 39名）

大阪：134名（153名）

福岡： 49名（ 56名）

合計：466名（516名）

④合格者数（カッコ内は合格率）

※第8回より「科目合格制」を導入

・総合合格者

116名（24.2%）

・「ME基礎論」合格者

20名（ 5.3%）

・「ME機器論」合格者

30名（ 8.6%）

2) 第39回第2種ME技術実力検定試験

①実施日 2017年9月3日(日)

②実施会場、受験者(カッコ内は応募者数)

札幌：札幌医学技術福祉歯科専門学校	364名 (372名)
仙台：東北工業大学	233名 (242名)
東京：東京電機大学	2,423名 (2,553名)
名古屋：名城大学	541名 (568名)
大阪：コングレコンベンションセンター	1,176名 (1,251名)
岡山：川崎医療福祉大学	822名 (849名)
福岡：九州産業大学	964名 (988名)
合計：	6,523名 (6,823名)

③合格者数(カッコ内は合格率)

全国：2,069名(31.7%)

(3) 第39回ME技術講習会(財団法人医療機器センターと共催)

A) テーマー医療機器安全基礎講習会ー

B) 実施会場、実施日および受講者数

①仙台会場(仙台国際センター)

2017年6月24日(土) 119名

②東京会場(大田区産業プラザPiO、ラーニングスクエア新橋)

2017年6月24日(土)、7/2(日)、8/19(土)(3回開催)
621名

③大阪会場(大阪国際会議場)

2017年7月9日(日) 359名

④沖縄会場(ピーススクエア)

2017年7月22日(土) 112名

⑤札幌会場(北海道経済センター)

2017年7月30日(日) 130名

⑥福岡会場(福岡商工会議所)

2017年7月30日(日) 321名

⑦名古屋会場(imyホール)

2017年8月6日(日) 191名

(4) ME塾

開催日：5/13(土)、6/10(土)、7/8(土)、8/5(土)、9/16(土)、
10/21(土)、11/18(土)、12/16(土)、1/20(土)、
2/17(土)、3/17(土)

計11回、各2講義 計22講義開催

参加者数：延べ179名

14. クリニカルエンジニアリング委員会

委員長：守本 祐司

委員：小野 哲章、加納 隆、篠原 一彦、堀川 宗之、峰島三千男、中島 章夫、石山 陽事

1) 臨床ME専門認定士合同認定委員会（日本医療機器学会と合同）

・第19回認定者 71名（総合計： 1111名）

・第12回認定更新者 113名

・更新講習会を開催

①平成29年度更新講習会

2017年 6月29日（木）東京 パシフィコ横浜 受講者数 121名

11月 4日（土）大阪 大阪ハイテクノロジー専門学校 受講者数 84名

2) ME技術教育委員会の活動支援

・第1種・第2種ME技術検定試験

15. 広報委員会

委員長：黒田 知宏

副委員長：平田 雅之

委員：岡本 英治、松永 忠雄、荒船 龍彦、岩城 護、目加田 慶人、戸田 英樹、吉元 俊輔、木村 映善、大竹 博

幹事：井村 誠孝、黒田 嘉宏

本委員会の主要な役割が学会と支部のホームページの運営管理であることを鑑み、各支部のホームページ担当者で委員会を構成した。委員会内の議論はメール稟議にて実施した。

学会ウェブサイトのリニューアル作業をサイエンスウェブ社に依頼して実施し、新デザインのサイトを平成29年6月に公開した。

各支部のホームページの運営状況について確認し、各支部からの情報発信の活性化をうながした。

過去の大会・シンポジウムについて、開催の記録およびウェブサイトのアーカイブを学会ウェブサイトを利用して行うものとし、方法を検討した。

16. ME研究推進委員会

委員長：橋爪 誠

副委員長：松本 健郎

委員：浅野 薫、佐久間 一郎、正宗 賢、成瀬 恵治、石原 謙、伊良皆 啓治、岡崎 利彦、岡本 英治、北風 政史、木内 陽介、篠原 一彦、清水 孝一、杉浦 清了、南部 恭二郎、野村 泰伸、姫野 龍太郎、三浦 裕正、山根 隆志、山家 智之、渡部 祐司

幹事：生田 幸士、長倉 俊明

1) 第56回日本生体医工学会大会においてオーガナイズドセッションを企画した。

テーマ：「日本に医工学専攻科は必要か？」

日時：平成29年5月4日（木）9:00- 10:30

昨年引き続き、ME研究推進策について検討し、解決策の一つとして本領域専攻や学科創設の意義と今後の具体的進め方について議論を深め、多くの研究者や政府関係者などへの働きかけの一助とした。

2) バイオエンジニアリングの学際的な学士・博士専門コースの設置に関して、関連学会や関連団体、省庁への働きかけを実施するための具体案の作成をした。

17. ME教育WG

委員長：平田 雅之

副委員長：橋爪 誠

委員：大須賀 美恵子、岡田 武夫、野村 泰伸、増山 理、松村 泰志、山家 智之、
篠原 一彦、長倉 俊明

医学部学生用のテキストについて、昨年度に引き続き検討を進めた。委員会設立当初の目的である「医学部における ME 教育の沈滞を改善するために、ME 教育を実施できる教員や技官がほとんどいない現在の医学部でも活用できるように、医学部のための ME 教育資料・テキスト等を策定する」を早期に達成することを再確認し、平成 30 年度中に医学部学生用のテキストの内容・執筆分担の決定ならび執筆開始を行うこととした。

18. 生体医工学科活性化委員会

委員長：花房昭彦

副委員長：吉田正樹

委員：植野彰規、内貴猛、苗村潔、橋本成広、山崎清之、森晃、山内康司、塚本壮輔

幹事：山本衛

1) 目的

全国の生体医工学科と関連学科を連携して、社会一般、特に高校生などの青少年に対して、全国的規模で生体医工学の分野を紹介し、啓蒙をはかるための方策を企画して実施するとともに、共通の問題点の洗い出しと、解決方策について検討する。

2) 委員会

2回の委員会(5/4、12/9)を開催した。

3) 事業

i) 進学相談会参加

株式会社さんぼう開催の以下の進学相談会に委員を派遣し、模擬授業を通して、高校生等を対象として生体医工学分野と学科に関する広報活動(分野と学科の紹介)を実施した。また、これらの相談会で配布された同社の刊行物「新しい学びのすすめ(理学・工学・生命科学系)」に、分野紹介の記事を掲載した。

- ・2017年5月7日 横浜理工系大学フェア(パシフィコ横浜) 来場者15名程度

- ・2017年7月17日 つくば理工系・薬学系大学フェア(つくば国際会議場) 来場者5名程度
株式会社フロムページ社による以下の進学相談会(夢ナビライブ)に委員を派遣し、まなびステーションでブースを設けて生体医工学分野の紹介を行った(有料)。

- ・2017年6月17日 インテックス大阪 来場者約70名 5名の委員で対応

- ・2017年7月22日 東京国際展示場 来場者約120名(昨年より約倍増) 4名の委員で対応

来場した高校生には積極的に話を聞いてもらえた。またアンケートの結果も肯定的なものが多数を占めた。

ii) 分野紹介の書籍の刊行

H26年4月に刊行した高校生や一般社会に分野を紹介するための出版物「先端医療を支える工学 ―生体医工学への誘い―」(コロナ社新コロナシリーズ)により、高校を中心に広報活動を展開した。

iii) 就職先拡充のための活動

医療機器関連業界研究セミナーを、アール・コンサルティング株式会社の協力を得て、12月18日に岡山理科大学(2大学から学生29名参加)、12月25日に芝浦工業大学大宮キャンパス(6大学から学生69名参加)、12月26日に近畿大学和歌山キャンパス(学生20名参加)にて開催した。アンケート調査によると非常に好評であったことから、このようなセミナーを継続的に開催することとした。

19. 日本生体医工学会大会あり方委員会

委員長：山家 智之

副委員長：佐藤 嘉伸

委員：阿部 裕輔、石原 謙、磯山 隆、井上 雄介、中村 真人、佐久間 一郎、白石 泰之、杉町 勝、野村 泰伸

1. 公益法人化に当たり、公益の観点に准じた大会の開催方法、大会開催地の選び方などについて、大会ありかた委員会で継続的に審議している
2. 大会の決定と時期についての論点
3. 大会の開催地についての論点
4. 大会長の資格について
5. 大会のME交代、地方交代について
6. 大会の会計について
7. 国際化の視点から
8. 大会の内容
9. 演題の公募
10. 今後の大会のありかたの方向性、継続性について

大会あり方の審議の方向性について、これまでの議論、今回の議論これからの方向性を、メモ書きとして記録に残して、理事や幹事が交代し議論が変化しても、継続して議論すべき問題として、次期理事長、理事会にもメモ書きとして、申し送り、継続性を保証する方向性を目指すこととする。

20. 選奨委員会

- 1) P.43のように各賞選定委員会を組織し、平成29年度選奨各賞受賞候補者を選定した。
- 2) 来年度から新規の助成を頂けなくなる荻野賞について今後の進め方について検討し、名称を「臨床応用研究賞・荻野賞」とすることを決めた。また、金額は50万円に据え置くこととし、基金を取り崩すか、運用を考えるかは今後検討することとなった。

21. 選挙管理委員会

委員長：川田 徹

副委員長：花房 昭彦

委員：上村 和紀、清水 秀二

平成30・31年度日本生体医工学会理事・監事の選挙について、平成30年3月6日に開票・集計を行った。87通の投票を開票し、理事9名（次点2名）、監事1名（次点1名）が選出され、3月14日開催の平成29年度第5回理事会に報告し、本人承諾の段階に移行している。

22. 利益相反委員会

委員長：中村 真人

委員：石原 謙、生田 幸士、木村 裕一、斎藤 逸郎、佐久間 一郎、椎名 毅、清水 孝一、篠原 一彦、杉町 勝、長倉 俊明、成瀬 恵治、野村 泰伸、橋爪 誠、馬場 一憲、三浦 裕正、守本 祐司、山家 智之、山森 伸二、四ノ宮 昇、浅野 薫、緒方 邦臣、深澤 太郎

幹事：石原 謙（委員兼任）、篠原 一彦

- 1) 平成29年度の委員会の構成
- 2) メーリングリストの修正
- 3) 利益相反委員会の開催：
 - ・日時：5月4日（木）17:10～18:30
 - ・場所：東北大学加齢医学研究所 実験研究棟7階 セミナー室1

- ・参加者：中村真人（富山大）、石原謙（愛媛大）、斎藤逸郎（東大）、清水孝一（早大）、長倉俊明（大阪電通大）、成瀬恵治（岡山大）馬場一憲（埼玉医大）、守本祐司（防衛医大）、山森伸二（日本光電）、以上9名

・議事内容：

- 1) 挨拶、委員会会員の紹介、議事の概要の説明。
 - 2) 利益相反の社会的な流れについて（石原）：前委員長の石原謙先生から、医学の中における利益相反の定義、利益相反の歴史的背景、および日本の医学界における利益相反の問題点について、詳細な説明が行われた。
(石原先生のパワーポイントの資料は、委員会メンバーにメール配信する予定)
 - 3) 平成28年度事業報告(中村)
「日本医学会 COI 管理ガイドライン」の改正案に対するメール審議の報告と意見交換が行われた。
 - 4) 平成29年度事業計画について(中村)：29年度の計画と予算について説明。
- 4) 利益相反委員会幹部会議（委員長・幹事2名：計3名）
日時：平成30年3月6日(火)
場所：東京工科大学(東京)
内容：
- 1) これから本学会の利益相反の基準についての方針
 - 2) 30年度の計画と予算について
 - ・委員会の開催：年1回、次回は第57回大会（北海道）予定
 - ・委員長・監事の協議（年3-4回東京にて実施予定）
 - 3) たたき台のためのたたき台の準備と協議
 - 4) 次回、北海道の大会の時の委員会について企画案など

2.3. 若手研究者活動WG

委員長：黒田 嘉宏
副委員長：荒船 龍彦
委員：永岡 隆、福満 雅史、塩澤 成弘

1) 講演会事業

2017年度は2回の講演会を実施した。1回目は2017年12月14日、フクラシア八重洲にて扇谷 悟氏（AMED：国立研究開発法人日本医療研究開発機構）より『AMEDにおける医療機器開発の支援いろいろご紹介します』という題目でご講演いただき、21名の参加者を得た。また、2回目は2018年3月6日、大阪工業大学梅田キャンパス OIT 梅田タワー 常翔ホールにて大西 龍貴 先生（京都大学）より『手術室から（世界へ！）日本発の鎮痛モニターを目指して』という題目でご講演いただき、20名の参加者を得た。

2) YIA

第57回日本生体医工学会大会の委員会のご協力を得て、大会ホームページの演題登録のページにYIA応募に関する説明を記載いただいた。また、YIAホームページを新設し、募集内容および応募資料提出用フォームを作成した。並行して、選考方法について検討した。

3) サマースクール

教育委員会と共同で、2017年8月28日から29日にかけて兵庫県のスペースアルファ神戸を会場に、2017年度の生体医工学サマースクールを実施した。

2.4. 公益法人化対応WG

委員長：佐久間 一郎
副委員長：阿部 裕輔
委員：大城 理、村垣 善浩、山家 智之、守本 祐司、佐藤 嘉伸

公益法人化に伴う運用上の問題の抽出を行った。

25. 生体医工学シンポジウム WG

2017 年 9 月 15 日 (金), 16 日 (土) に信州大学 繊維学部 上田キャンパスにおいて生体医工学シンポジウム 2017 の円滑な運営を行った。

また、生体医工学シンポジウム 2018 の開催地、組織委員長を選定した。

さらに、2018 年度以降のシンポジウム開催地等の選考を始めた。

26. 他団体との共催・後援・協賛状況 (依頼受付順)

(1) 共催

1. キャビテーションに関するシンポジウム (第 19 回)

(2) 後援

1. 医療機器ガイドライン活用セミナー
2. 第 10 回 MDIC 認定セミナー
3. 第 46 回日本医療福祉設備学会
4. 第 13 回日本分子イメージング学会総会・学術集会
5. ワイヤレステクノロジーパーク 2018
6. 第 52 回日本作業療法学会
7. 第 8 回呼吸治療関連指定講習会
8. 第 93 回日本医療機器学会大会

(3) 協賛

1. 第 60 回自動制御連合講演会
2. ライフエンジニアリング部門シンポジウム 2017 (LE2017)
3. 第 34 回センシングフォーラム 計測部門大会
4. ヒューマンインタフェースシンポジウム 2017
5. 第 34 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム
6. 日本知能情報ファジィ学会大会 SCIS&ISIS2018
7. 第 41 回東京電機大学 ME 講座
8. 第 18 回 SICE システムインテグレーション部門講演会
9. ひろしま医工学スクール
10. 2017 年度 JCOM 若手シンポジウム
11. MHS2017
12. HOSPEXJAPAN2017
13. バイオメディカル・ファジィ・システム学会第 30 回年次大会
14. 次世代センサ総合シンポジウム
15. 人間－生活環境系学会シンポジウム
16. 第 8 回マイクロ・ナノ工学シンポジウム
17. 第 26 回コンピュータ外科学会大会
18. 第 30 回バイオエンジニアリング講演会
19. 第 5 回岩崎コンファレンス
20. 第 29 回「国民の健康会議」
21. JCCM9

22. 日本音響学会第 157 回技術講習会
23. 講習会「有限要素法による骨のバイオメカニクス解析入門～理論から応用まで～」
24. 第 30 回自律分散システム・シンポジウム
25. インテリジェント・システム・シンポジウム
26. ロボティクス・メカトロニクス講演会 2018
27. シンポジウム：スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス 2017
28. 11th international Conference on Optics-photonics Design & Fabrication (ODF'18)
29. 第 72 回未踏科学技術特別講演会
30. 第 37 回日本医用画像工学会大会
31. 平成 29 年度衝撃波シンポジウム
32. 第 16 回ナノテクノロジー総合シンポジウム
33. IIP2017 情報・知能・精密機器部門講演会
34. SSII2018
35. 第 39 回バイオメカニズム学術講演会
36. 第 2 回東京電機大学医療機器国際展開技術者育成講座
37. 3 次元画像コンファレンス 2018
38. 学術講演会 LIFE2018
39. 第 54 回真空技術基礎講習会
40. 平成 30 年度工学教育研究講演会
41. 未踏科学技術協会特別講演会
42. 第 34 回 FSS2018

事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。